

第59号

本巢市議会だより



▲学校近くの川の生き物学習(席田小学校)

contents

平成30年第2回定例会開かれる	…P. 2
11人が一般質問に立つ	…P. 4
委員会活動	…P. 9
審議結果および各議員の表決	…P.11
議員研修	…P.12

●第2回定例会開かれる●

定例会開かれる

開き、条例制定1件、条例改正2件、補正予算1件、結2件、請願1件等を審議・決定しました。

◎予算決算委員会の設置

委員会における議案審査の充実を図るため、常任委員会として予算決算委員会を設置し、予算及び決算の審査を行う。

<委員定数>

◎委員は、議長を除く全議員（15名）とし、うち委員長1人、副委員長1人とした。

<議案審査方法>

1. 全体会 …… 付託議案について執行部からの補足説明を受け質疑の後、分科会を設け審査項目の割り振りを行う。
↓
2. 分科会 …… 分科会において、割り振られた項目について審査を行う。
↓
(担当部局からの補足説明後に質疑)
3. 全体会 …… 分科会の審査報告を受け、全委員で付託議案について委員会としての可否を決定する。

繰越計算書の報告

29年度本巣市一般会計繰越明許費繰越計算書

財団等の経営状況の報告

○本巣市土地開発公社 ○一般財団法人もとす振興公社

全国市議会議長会・東海市議会議長会から功労者表彰

第2回定例会閉会后、瀬川副議長より表彰状が伝達されました。



15年表彰 村瀬明義議員

全国市議会議長会から感謝状

功労者表彰に引き続き、瀬川副議長より感謝状が伝達されました。



鏝本規之議員 上谷政明議員

●定例会で決まったこと●

平成30年 第2回

本巢市議会は5月31日～6月26日、第2回定例会を専決処分(条例)2件、物品売買契約の締

一般会計補正予算(第1号)可決

◎一般会計補正予算は、1億599万円の増額補正で、総額は175億2599万円になりました。

★主な歳入

- 元気な農業産地構造改革支援事業等
県補助金……………△832万円
- 担い手確保・経営強化支援事業
県補助金……………1064万円
- スクール・サポート・スタッフ配置事業
県補助金【新規】……………149万円
- 社会資本整備総合交付金等
国庫補助金……………3億2479万円
交付額内示に伴う増額等

★主な歳出

- ふるさと魅力体験事業
【新規】……………78万円
 - スクール・サポート・スタッフ配置事業
【新規】……………167万円
 - 社会資本整備総合交付金事業
社会資本整備総合交付金及び防災・安全
交付金の増額……………9990万円
- ※その他歳出の主なものは、4月の人事異動による人件費の増減です。

その他の議案

- 専決処分の報告
 - ・公用車の事故に係る損害賠償
 - ・舗装破片による事故に係る損害賠償
- 物品売買契約の締結
 - ・本巢市市営バス
契約金額 3629万円
 - ・小学校電子黒板
契約金額 3143万円
- 税条例等の一部改正
地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴うもの
- 権利の放棄について
- 地域経済牽引事業の促進に係る本巢市固定資産税の特例に関する条例
地域経済牽引事業を行おうとする事業者に対する支援措置を講じる
- 土地開発公社の解散について
- 請願
「所得税法第56条の廃止を求める請願」
反対多数で不採択

◎条例改正(専決処分)

- 市税条例
地方税法の一部改正
- 国民健康保険税条例
負担の適正化を図るため、5割軽減及び2割軽減の対象世帯に係る所得判定基準を改正

Q & A

● 一般質問 ●

6月定例会

11人が一般質問に立つ



高田浩規

Q 橋りょう点検修繕について

道路施設の長寿命化を促進するため継続的に永遠に行う事業で、効率的に適切に行う必要があります。

Q1 対象となる道路施設数は
A1 合計799橋、内40年以上経過が699橋です

原・産業建設部長

Q2 各年における対象となる道路施設の選定、発注方法は

A2 岐阜県建設研究センターへ随意契約で発注しています

橋長15m以上の橋りょうを優先し、次に50年以上経過の橋りょうの順に選定。

Q3 検査の将来像は

A3 カメラ付き無人航空機による点検が導入され始めています

Q4 点検の結果は

A4 早期に措置すべき状態であるとの判定が8橋あります

健全な状態である判定が397橋、措置を講ずることが望ましい状態である判定が242橋。

Q5 県が管理する施設の検査結果は把握していますか

A5 毎年、県道路メンテナンス会議で情報提供を受けています

Q6 今後の架け替えの計画は

A6 点検結果により計画を見直し安全性を確保していきます

Q ふるさと納税について

地方自治体が自ら財源を確保し、施策を実行する有効な手段です。本来の趣旨に立ち返り、ふるさと納税を活用されることが、求められています。

Q1 制度の良い所また、課題は

A1 貴重な財源として有効に活用

大野・企画部長

寄付先を選ぶ材料として、返礼品が大きく影響しています。

Q2 納税の方法、時期は

A2 大半が、インターネット上のふるさと納税サイトからです

Q3 使途を広く市民に求め趣旨や成果を明確化する取り組みは

A3 使途を明確化した特定事業の選定に努めています

Q4 納税を行った人とのコミュニケーションを行う取り組みは

A4 市を代表する農産物の返礼品に対するリピーターは多い

Q5 企業版ふるさと納税の取り組みは

A5 要件のハードルは高いが検討を進めます



寺町 茂

Q 学校教育について

本巢市は教育費への予算充当割合が大きく、教育の充実に力を入れています。物的教育環境の充実も図られています。

Q1 教職員枠に加えどのような職員が雇用されていますか

A1 それぞれの分野で専門性の高い職員を配置しています

川治・教育長

Q2 現在の人的教育環境に対してどのように評価されていますか

A2 学校生活に貢献し安全安心な暮らしにつながっています

Q3 学校におけるふるさと教育の現状は

A3 文化や歴史、自然環境等の素晴らしさを感じています

Q4 登下校時の事故、事件防止のための対策は

A4 見守りの充実、情報の活用等万全を期して周知しています

Q 自然環境保護について

本巢市の豊かな自然環境は誇りの持てるところであります。しかし、自然環境の劣化は確実に

に進行している様子が観察されています。

Q1 ゲンジボタルの減少を食い止める増やすための施策は必要か

A1 まずは市営保護条例の周知と保護に努めていきたい

原・産業建設部長

Q2 東海環状自動車道建設に伴う環境影響評価と保全対策は

A2 保全対策を十分に配慮していくと聞いています

ゲンジボタルは本市を代表する貴重な生物であり、貴重な観光資源であります。「必要に応じて対策を行い、保全について適切に配慮していく。」と聞いています。

Q 合併特例債延長について

合併特例債の延長を受け、どのような事業展開を。

A 「新市建設計画」に位置付けられた事業に活用

藤原・市長

インターへのアクセス道路やパーキング周辺の整備、公園整備等の基盤整備事業と統合庁舎への活用も考えます。



●一般質問●



河村志信

◎地域学校連携について

30年後の岐阜県の人口は4分の3になると予測されています。幸い、東海環状自動車道の(仮称)糸貫インターの開通を控える本市においては、工業団地など、進出を希望する企業が多数あります。しかし、地元の高校生や大学生の就職については、31%が県内で就職したくないと回答。その理由として「県内で働くイメージがない」「都会で働きたい」「志望企業、団体がない」とありました。

Q1 本巣松陽高校と本巣市との連携協定は

A1 幅広い分野におき、相互に連携・協力していきます

大野・企画部長

人口減少社会における自治体や学校運営の課題解決、キャリア教育の推進、公共施設の活用、地域貢献を目指した小、中学校との連携などを考えています。

Q2 高校、大学との地域学校連携推進の可能性は

A2 地域に高校や大学が存在し、

大変恵まれています

岐阜大学とはICTを活用した「船来山古墳群」の学習プログラムを作成していただいています。岐阜農林高校とは、「まくわうりアイス」「まくわうり列車」などを通じて連携しています。

Q3 根尾川河川敷に運動公園の設置についての考えは

A3 国の補助金を活用した事業などを検討しています

原・産業建設部長

長良川では忠節橋より下流に整備されています。根尾川についても整備や管理費用など、国の補助金や民間活力により、憩いの場や観光資源として検討しています。

Q4 自転車通学路やバス路線の見直しは

A4 本市に学ぶ生徒たちの通学につき、対策に努めます

畑中・総務部長

近年、自転車通学時の交通事故が発生しています。公安委員会などを通じて、安全対策に努めています。バス路線についても岐阜バスやみずほバスと協議し、利便性の向上に努めています。



澤村均
(日本共産党)

◎高齢者の買物支援事業について

Q1 現在実施の買物支援事業3ヶ所の自治会の利用状況は

A1 神明・高砂町自治会で実施

久富・健康福祉部長

月2回、1回約2時間、福祉協議会が最寄りの店舗まで実施し、神明は17回で計103人、高砂町は、26回で、計156名の利用。宝珠ハイツは、今年6月11日に開設しました。

Q2 今後他の自治会への拡大の可能性は

A2 高まるものと考えています

住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるためにも、買い物支援などの移動手段の確保は必要不可欠と考えています。

Q3 ボランティア、運転手の確保バックアップ体制は

A3 現在10名程の登録があり、有償で3名確保しています

介護予防サポーター養成、ボランティアの育成確保に努めています。

Q4 根尾地域でのデマンドタク

シーの考えは

A4 今年度策定する「本巣市公共交通連携計画」で検討します

畑中・総務部長

樽見鉄道や市営バス等の公共交通手段と合わせた地域の公共交通ネットワークを形成する上でデマンド交通のあり方を検討します。

Q 若者の婚活支援について

A 昨年度2回の婚活イベントを実施しました

久富・健康福祉部長

市内外から合わせて59名の参加者があり、今年度は市内団体との協働により、3回のイベントを予定しています。

Q 平和への取り組みについて

原水禁世界大会に向けた平和大行進など核廃絶を目指す取り組みについての思いは。

A 核兵器廃絶と恒久平和を願う非核平和都市宣言をした

藤原・市長

毎年平和への願いを醸成するため次代を担う中学生に核兵器の恐ろしさや戦争の悲惨さ、平和の尊さを体験する平和教育を行っています。平和大行進には、核兵器廃絶の願いを国際署名という形で、思いを伝えます。

● 一般質問 ●



堀部好秀

◎ 本巢市の職員について

本巢市は平成28年度から5カ年、32年度まで職員を増員する定員適正化計画を策定しています。また職務も複雑多様化し職員の負担も大きくなり、ワークライフバランスの推進も重要視されています。

◎ 職員数の推移は

A1 29年度までは減少したが、30年度は増加しています

大野・企画部長

◎ 職員の確保について対策は

A2 受験の機会を増やすことで、職員の確保に努めています

◎ 3年次有給休暇の取得状況は

A3 29年は平均9.2日です

これからも計画的な取得を推進しワークライフバランスをさらに進めます。

◎ 幼稚園の養護教諭について

幼稚園には養護教諭配置の規定はありませんが、近年は配置を望む声が多く、また、時限措置の保育士不足対策として養護教諭や看護師等を保育士として活用できるとされています。

◎ 市内の養護教諭配置状況は

久富・健康福祉部長

A1 8園に対し3名です
根尾・神海・本巢幼稚園で1名、糸貫西・糸貫東幼稚園で1名、真正・真桑・弾正幼稚園で1名配置し、怪我や病気の救急処置、健康診断の管理等を行っています。

◎ 保育士での活用も含め今後の養護教諭配置計画は

◎ 保育士の確保を優先します

◎ 認知症カフェについて

認知症予防対策として本巢市でも認知症カフェが開催されていますが、28年度までは利用者が少なかつた。

◎ 昨年度までの利用者が少ない要因は

A1 施設運営の場合は敷居の高さや抵抗感とを考えています

久富・健康福祉部長

施設運営では利用者が少ないが、住民主体運営では多くの利用者があります。

◎ 今年度からの取り組みは

A2 住民主体運営を支援していきます



鏑本規之

◎ 副市長の抱負について

A 藤原市長のもと本巢市政進展のため努力します

早川・副市長

28年間、県職員として県政に携わり、中でも岐阜振興局では岐阜圏域9市町の地域振興、防災業務に従事しました。今後の本巢市は、東海環状自動車道の整備に伴い、企業誘致による産業の創出、雇用の場の確保が期待でき、そうした効果を市全体に波及させることが大切です。

◎ 敬老祝賀会を市主体から各地域で実施しては

A 自治会長会等の意見を聞き実施に向け検討します

久富・健康福祉部長

今年度の事業内容は、落語や曲芸などの余興、お楽しみ抽選会、対象者全員への2千円分のもともたる商品券を配布等、総事業費は約1500万円です。近年の参加者は800人前後で、昨年度は18%の出席率で年々減少しております。この状況を踏まえ、本市では現行の4地域で

の開催を廃止し、自治会単位での実施を検討しています。自治会長会、民生委員児童委員協議会等の意見をお聞きしながら、実施に向け検討します。

◎ 根尾川花火大会について

共同開催している大野町のようにより多くの協賛企業を得ることによって、市の負担が減り、他の事業にお金を回すことも出来ます。

◎ 協賛企業を増やすための方法は

A1 協賛金額に応じ様々な特典を設け協賛企業を募ります

原・産業建設部長

◎ 協賛企業にとって何かメリットは

A2 今まで以上の特典を設けます

市ホームページ上で協賛者の紹介。花火会場内に観覧席の確保・協賛者ボード設置、駐車場の確保などの特典を設け、市内企業に限らず多くの企業に賛同いただけるよう取り組みます。

◎ 寄付をした場合税制上の優遇措置は

A3 目的と性質により税制上の取り扱いが異なります

畑中・総務部長

●一般質問●



黒田芳弘
(市政自民クラブ)

◎ 学校給食の民間委託

多くの課題があり、説明と周知、意見も聴取し、質を保つ学校給食へ慎重な検討を願います。

- Q1 民間委託に至る経緯は
- A1 効率的な行政運営の推進です

溝口・教委事務局長

◎ メリットや主な課題は

- A2 労務管理事務の軽減や食物アレルギー対応の拡大に期待

市の方針を示し、優良事業者の選定が大切となります。

- Q3 他の自治体での実績や効果は
- A3 県内では26施設で約36%、全国で約47%の実績

労務管理負担軽減効果がありました。

◎ 民間委託へ向けた進め方は

- A4 情報収集と平行し、検討委員会を設置し協議を進めます

川治・教育長

◎ 本巢市の働き方改革

結果や形だけを求めず、まずは業務の効率化が大切です。

- Q1 現在の具体的取り組みは
- A1 残業の縮減や有給休暇の計画的取得などを推進しています

大野・企画部長

◎ 自治体における働き方改革とその課題は

- A2 組織風土の醸成が重要

幅広い複数の業務があり、働き方改革の必要性を共有し、当事者意識を持つことが大切です。

- Q3 改革への今後の取り組みは
- A3 現状を把握し、組織を挙げて職場環境改善に努めます

藤原・市長

◎ 「かわまちづくり支援制度」の活用で水辺空間の創造を

市民へ憩いの場の提供と、にぎわいの創出や観光施策として有効な施策と考えます。

- Q1 この制度の詳細については
- A1 国土交通省創設の事業です

原・産業建設部長

自治体を中心となり、協働で計画を作成し登録を受け、水辺空間を形成する制度です。

◎ 制度活用による水辺空間の創造について見解と方針は

- A2 「かわまちづくり計画」の策定を検討します

藤原・市長

近年、貴重な空間として、市民の憩いの場や観光活性化へも期待されています。



瀬川治男
(市政自民クラブ)

◎ パブリックコメントについて

この言葉について調べてみると行政用語の594の一つです。

- Q1 普段あまり聞きなれない言葉ですがどういったものですか
- A1 市民参画と協働のまちづくり推進のため平成19年より開始

大野・企画部長

◎ 意見を求める方法は

- A2 担当窓口での閲覧や配布、市ホームページへの掲載等です

この制度は市の基本的な政策等を決定する際に、事前にその案やその他必要な事項を公表し、市民の意見を参考に政策等を決定するものです。

- Q3 多くの意見を出してもらう、その方策は
- A3 市広報紙やホームページでの掲載方法の充実を図る

パブリックコメントは多くの市民からの意見を聞き、将来の市の方向をも左右する大事な手段です。

◎ 市ホームページの施設案内の掲載方法について

各施設の写真や、利用時間、使用料などは掲載されているが。

- Q1 内容的に乏しいと感じるが
- A1 今後は見やすく利用しやすいホームページにしてい

- Q2 市民文化ホールの日々の行事予定が見にくい
- A2 市民に分かりやすいものに改善していきます

大野・企画部長

- Q3 ホームページの充実や有能な人材の配置は
- A3 今後検討します

溝口・教委事務局長

ホームページの一層の充実を図るとともに、人材配置は今後検討したい。

ホーム



● 一般質問 ●



大西徳三郎
(市政自民クラブ)

Q ホテル誘致に関する条例を

本市へホテルの誘致を促進することにより、観光の振興及び地域経済の活性化を図り、市勢の発展に寄与する同条例を構築する必要があると思います。

A 誘致を促進する条例の制定等について検討します

藤原・市長

本市への観光目的の来訪者、工業団地への事業関係者など、交流人口の増加が見込まれますが、インターチェンジ周辺には宿泊施設がないのが現状です。ホテル誘致を進めるには、経済効果を検証、適地の選定、関連する団体、自治会及び地域住民の十分な理解も得る必要があります。誘致を奨励する他市町や金融機関から情報収集を行い、条例の制定など検討します。

Q 高齢者の運転事故等

Q1 運転免許証自主返納高齢者支援事業の見直しは

A1 現制度での運用を今後も進めます

久富・健康福祉部長

ご提案の電動四輪カート・電動アシスト三輪車への支援は、75歳以上の高齢者が利用することによる交通事故のリスクが非常に高いと考えます。高齢者の移動手段の支援は、安全・安心な公共交通機関への利用にシフトしていただく施策を進めていきたいと考えています。

Q2 高齢者タクシー利用助成事業の中身を見直す考えは

A2 75歳以上の年齢要件を緩和できないか検討します

今までに、市民から本事業について要件緩和等のご要望はありませんが、市としては検討していきます。

Q3 補助金を出し、サポート車の普及を図ることは

A3 補助制度の導入を検討します

自動ブレーキやペダル踏み間違い時加速制御装置などを搭載した先進安全自動車（ASV）の普及を高齢者の交通事故防止対策の一助となることで、有効な取り組みであると考えますので、検討します。



高橋勇樹

Q 今後の本巢市の防災・減災について

南海トラフ地震について市民の方から不安の声を耳にします。Q1 減災につとめるための市の動きは

A1 耐震化促進を継続、土砂災害高危険箇所対策は国県へ要望

畑中・総務部長

Q2 地域の防災リーダー募集・育成は

A2 防災士等の養成・育成に努めています

*その他、地震発生時の市の動き、外山地域の避難所について質問しました。

Q 公共施設の高効率化について

本巢市のランニングコスト削減につながると考えます。

Q1 本市の高効率照明の切り替え状況は

A1 故障時・改修時に高効率照明へ切り替えています

畑中・総務部長

*その他、ランニングコスト削減の見直しについて、学校の

教室の高効率次世代照明の使用の考えについて質問しました。

Q 子どもたちの登下校の安全確保について

東海環状道西回りルート完全開通を控え、交通量の増加や周辺工事等の大型車の通行量増加のため、子どもたちの登下校時の安全確保がより必要だと感じます。

Q1 下校時の見守り体制は

A1 登下校見守り隊が組織されています

溝口・教委事務局長

Q2 スクールゾーン設定状況は

A2 弾正・土貴野小学校区に設定されています

Q3 スクールゾーンの車の規制についての考えは

A3 交通規制の担当部署と連絡調整を図り対応します



● 一般質問 ●



今枝和子
(公明党)

◎ 産後ケアについて

「現代の少子化の中で、出産した母親や家庭を社会が手厚くサポートする」との理念のもと厚生労働省は、「産後うつ」を予防するため、昨年4月1日から産後うつ健診の費用を助成しています。また、現在自殺対策の策定中にある中、産後うつによる自殺予防にもなります。

Q1 本市の現在の産後ケアは

A1 「岐阜県母と子の健康サポート支援事業」を実施しています

久富・健康福祉部長

Q2 国が助成する産後うつ健診についての考えは

A2 実施できるよう検討し、自殺対策の一助となるよう検討

妊婦・産婦の精神問題も含め虐待予防や育児ノイローゼなどの予防や早期発見、早期対応のためにも、産後健康診査を実施することは、重要なことであると考えております。

◎ フッ化物洗口について

乳歯や萌出したばかりの永久歯は、虫歯になりやすい反面、

歯質強化に有効なフッ素を取り込みやすい性質があります。また、歯と口腔の健康は将来、生活習慣病の予防にもつながりとても重要です。

Q1 本市におけるフッ化物洗口の実施状況とその効果は

A1 席田・土貴野・根尾小学校と糸貫東幼児園が実施

川治・教育長

「う歯所有者率」は全国平均が、48・9%、実施3校は51・0%となっております。

Q2 県が補助するフッ化物洗口の小中学校実施の考えは

A2 慎重に検討してまいります

◎ 熱中症計等利用の熱中症対策について

Q1 本市の小中学校における熱中症対策は

A1 昨年6月に市内全小中学校に熱中症注意表示板を設置

川治・教育長

実際の校内環境把握のため、何度も管理職等が校舎内や校地内の巡視も行ってます。

Q2 留守家庭教室における熱中症計利用等を含めた対策は

A2 各教室に計測器を購入し、危険を見落とさない様努めます

久富・健康福祉部長

● 委員会活動 ●

総務企画委員会 6月19日(火)

審査付託案件 ※審査の結果、全員賛成となった案件

1. 本巢市税条例の一部を改正する条例について
2. 地域経済牽引事業の促進に係る本巢市固定資産税の特例に関する条例について

審査付託案件 ※審査の結果、不採択となった案件

1. 所得税法第56条の廃止を求める請願

協議案件

1. 平成30年度本巢市一般会計補正予算(第1号)

主な質疑の内容

○ 企画部に属する予算について

- ・特別職給与を補正前と比較した場合の給与費と共済費が減額となっている理由について
- ・職員数の増減について



●委員会活動●

文教福祉委員会協議会 6月20日(水)

協議案件 (関係部分)

1. 平成30年度本巣市一般会計補正予算(第1号)

主な質疑の内容

○健康福祉部に属する予算について

- ・生活保護基準が見直しされるとのことであるが、改正内容について

○教育委員会に属する予算について

- ・スクールサポートスタッフ配置事業とふるさと体験事業に係る予算の積算方法について
- ・ふるさと魅力体験事業とふるさと学習との違いについて
- ・市内各中学校の自転車通学における許可基準の違いと自転車の安全教育は実施されているかについて
- ・学校の授業以外の安全教育に関する予算について

※柿畑など人目につかないところが通学路となっている。こういった箇所を通学路の見直しの点検項目として加えていただきたいと要望がありました。



▲真正ストックヤードを視察する委員

産業建設委員会協議会 6月21日(木)

協議案件 (関係部分)

1. 平成30年度本巣市一般会計補正予算(第1号)

主な質疑の内容

○産業建設部に属する予算について

- ・社会資本整備総合交付金事業の内容について
- ・社会資本総合交付金と防災安全交付金の交付額内示が増額された理由について
- ・根尾川花火大会の本巣市における協賛企業の状況について
- ・道の駅の指定管理者がシダックスになったことにより、販売を中止している農産物があるが、その理由について



▲うすずみ温泉 四季彩館 アドベンチャー施設を視察する委員

● 審議結果および各議員の表決 ●

【表示記号】 「○」…賛成 「×」…反対 「-」…欠席・除斥等による不参加 「/」…議長のため採決に加わらない

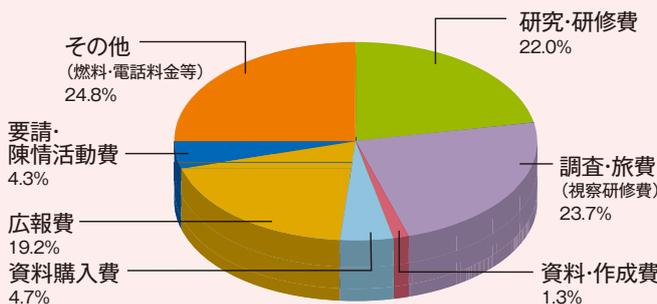
平成30年第2回定例会			議員名(議席番号順)	議決結果	高橋勇樹	今枝和子	高田浩視	寺町茂	河村志信	澤村均	堀部好秀	鏑本規之	黒田芳弘	臼井悦子	道下和茂	村瀬明義	若原敏郎	瀬川治男	上谷政明	大西徳三郎	
議案番号・議案名等																					
議員提案	請願第1号	所得税法第56条の廃止を求める請願について		不採択	×	×	×	×	×	○	×	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×

平成30年第2回定例会 (全会一致で可決された議案)										
市長提出議案	報告第1号	報告第2号	議案第40号	議案第41号	議案第42号	議案第43号	議案第44号	議案第45号	議案第46号	議案第47号
	専決処分の承認を求めることについて(本巣市税条例等の一部を改正する条例)	専決処分の承認を求めることについて(本巣市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	本巣市税条例等の一部を改正する条例について	地域経済牽引事業の促進に係る本巣市固定資産税の特例に関する条例について	物品売買契約の締結について(本巣市市営バス)	物品売買契約の締結について(小学校電子黒板)	権利の放棄について	本巣市土地開発公社の解散について	平成30年度本巣市一般会計補正予算(第1号)について	本巣市議会委員会条例の一部を改正する条例について

政務活動費の用途を公表します

※本市では、議員の調査研究に対する経費として、月額2万円の政務活動費が交付されます。政務活動費の用途については、調査研究活動の実績報告書及び収支報告書を年度終了後に議長に提出する事になっています。平成29年度は議員改選のため、前期(4月から9月分)については17名のうち15名、後期(10月から3月分)については16名のうち15名が政務調査費の交付を受け、総額約265万円が支出されました。

平成29年度政務活動費用途明細



日時	場所	会議名等
7月17日(火)	本庁舎	議会だより編集特別委員会
7月10日(火)	本庁舎	議会だより編集特別委員会
6月29日(金)	本庁舎	議会だより編集特別委員会
6月26日(火)	本庁舎	議会だより編集特別委員会
6月25日(月)	本庁舎	議会運営委員会
6月21日(木)	糸貫分庁舎	産業建設委員会協議会
6月20日(水)	真正分庁舎	文教福祉委員会協議会
6月19日(火)	本庁舎	総務企画委員会
6月15日(金)	本庁舎	本会議(般質問)
6月14日(木)	本庁舎	本会議(般質問)
6月4日(月)	本庁舎	議会運営委員会
5月31日(木)	本庁舎	本会議(開会)
5月30日(水)	東京都 東京国際フォーラム	第94回 全国市議会議長会定期総会
5月24日(木)	本庁舎	議会運営委員会
5月23日(水)	山梨市 文化の里 花咲きホール	中濃十市議会議長会総会

議員活動日誌

議会開会のお知らせ

◆8月29日(予定) **定例会**

詳細確定後
ホームページに掲載します。
傍聴におかけください。



本巣市公式
マスコットキャラクター
もとまる

● 議員研修 ●

先進地視察研修

市政自民クラブ(若原・大西・瀬川・黒田議員)、村瀬議員

平成30年2月5日(月)～6日(火) 場所:東海市、新城市

視察研修内容

◎東海市

- (1)放課後子ども総合プランによる放課後事業の
一体運用について
- (2)地域ボランティアによる体験教室を視察

◎新城市

- (3)移住・定住による農村の活性化
新城市担い手確保総合育成計画について
- (4)新庁舎建設事業概要について
候補地選定から規模の変更
住民投票を経ての決定までの経緯



先進地視察研修

河村・寺町議員

平成30年5月17日(木)～18日(金) 場所:越前市、福井市、鯖江市

視察研修内容

◎越前市

- (1)越前市エコプレッジ交流センター
里地里山の整備方法と実績 里地里山の移住定住策
- (2)越前市コウノトリの里
コウノトリの棲める環境整備 コウノトリの生息に適した農法

◎福井市

- (3)福井市水みどり環境技術協会
ホタル水路の必要性と概要 ホタル水路の開発と実績

◎鯖江市

- (4)鯖江市河和田地区ホタル水路
ホタル水路設置状況 ホタル水路の効果と維持管理



議会だより編集特別委員会

◎臼井悦子 ○堀部好秀 瀬川治男 寺町 茂 今枝和子